

# アキレスのCSR 2018

Living With Society



## トップメッセージ



代表取締役社長

# 伊藤 亨

当社は、創業当時より「できるだけお客様の役に立ちたい」という思いを掲げてまいりました。これが、当社のスローガンである「あなたの身近にいつも…アキレス」に込められた思いです。この思いを抱き、時代の変化に合わせて、製品を開発し、サービスを変え、お客様と共に歩んできたと自負しています。

身近な製品…それはシューズ、ウレタンフォームを使用した寝具、快適なドライビング環境を演出する車輻内装材、快適空間をつくる壁紙などの建築資材であり、日々の暮らしになくてはならないものです。これらの製品をこれからも創り続けていくためには、言うまでもなく、お客様の目線で考えることが最も重要だと思っています。

昨今、品質データ偽造などが報道され、日本の製造業への信頼が揺らいでいます。私たちの会社は何のために存続し、何のために事業を行っているのかが問われているように感じています。

当社の企業理念は「社会との共生」＝「顧客起点」ですが、社会の中で必要とされる企業であり続けるには、国の内外を問わず、人権を尊重し、法令や国際ルールを遵守することを当たり前に行うことが必要です。つまり、社員一人ひとりの取り組みが注視されていると思います。

昨年会社創立70周年を迎え、創業精神への原点回帰を誓うとともに、アキレスの新たな歴史づくりをスタートさせました。原点である「すべてはお客様と共にある」との思いは、これからも変わることはありませんが、さらに、市場の変化やお客様のニーズに対応した製品安全・品質・信頼性を向上させ、優れた製品・サービスをお客様に提供していくことを誓いたいと思います。

2018年9月

# 企業理念

## 「社会との共生」=「顧客起点」

「顧客起点」のもと、お客様の真の満足と感動を戴ける製品の創造とサービスの提供を通して、豊かな社会の実現に貢献する。

## アキレスグループのCSRの基本的な考え方

私たちアキレスグループは、豊かで快適な社会づくりに貢献できる会社であり続けることを目指しています。そのために必要なのが、企業に社会に未来に、新たな価値を創り続けていくことです。「健康」「快適さ」「楽しさ」「省エネルギー」をキーワードに、創業以来培ってきたプラスチック加工技術をさらに向上・進化させ、お客様により身近な製品、独創性のある製品をご提案します。私たちはたゆまぬ改善を重ね、全てのステークホルダーの皆様の信頼とご期待に応えます。

## アキレスのCSR重要テーマ

アキレスでは、ISO 26000の7つの中核主題に基づき、自社にとって重要度の高い取り組みを「CSR重要テーマ」と位置づけています。

- 1** **「消費者課題」**  
**製品・サービスを通じた真の満足と感動の提供**  
製品における安全性確保や品質向上に取り組み、社会の要請に応え感動を与えるモノづくりを追求します
- 2** **「環境」**  
**環境への取り組み**  
CO<sub>2</sub>、水、廃棄物などの環境負荷低減、森林や生物多様性などの環境保全に取り組みます
- 3** **「公正な事業慣行」**  
**取引先との協働**  
取引先を含めたサプライチェーン全体における取り組みや、公正な事業活動を推進します
- 4** **「人権」と「労働慣行」**  
**人権や多様性の尊重とグローバル人材の育成**  
人権に配慮し多様な人材を活用しグローバル人材を育成します
- 5** **「人権」と「労働慣行」**  
**安全で働きやすい健康的な職場環境**  
安全で健康に働くことのできる職場づくりに取り組みます
- 6** **「コミュニティ参画・発展」**  
**地域との関わりと社会貢献活動**  
地域社会とのコミュニケーションや社会貢献活動を重んじ、地域の発展に貢献します
- 7** **「組織統治」**  
**ガバナンス・リスクマネジメント**  
経営の透明性を高める制度の強化、リスク対策に取り組みます

### 持続可能な開発目標 (SDGs) とは

SDGsは、Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)の略語です。2030年までを期間として、2015年に国連で採択された国際目標で、17のゴールと169のターゲットで構成されています。CSR重要テーマの横に配置したロゴは、アキレスグループがそれぞれの取り組みを通して貢献しているゴールを表しています。



# 事業内容

## シューズ部門

シューズ事業部 キッズ、メンズ、レディースシューズ



キッズ



メンズ



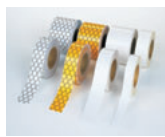
レディース

## プラスチック部門

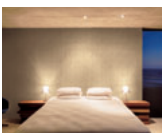
車輻資材事業部 車輻内装用資材、一般塩化ビニールレザー、合成皮革など



化成事業部 一般用・工業用・農業用フィルムなど



建築事業部 建築用内装資材



引布販売部 防災テント、ボート、住宅排水管用フレキシブルジョイントなど

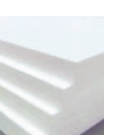
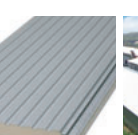
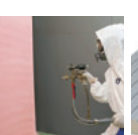
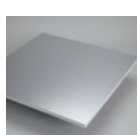


## 産業資材部門

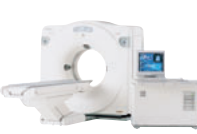
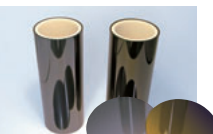
ウレタン事業部 軟質ウレタンフォーム製品、および2次加工製品



断熱資材事業部 硬質ウレタンフォーム断熱製品、現場発泡用硬質ウレタンフォーム、発泡スチロール断熱材など



工業資材販売部 静電気対策製品、反応射出成形品など



## 開発営業部

開発営業部 「Tn-p工法」などインフラ関連技術、「グラスレ」



# 沿革

1947年	5月	資本金200万円をもって「興国化学工業株式会社」を設立。本店を東京都中央区日本橋とし、工場を栃木県足利市に置き、ゴム製品の製造、販売を開始。
1948年	4月	塩化ビニール製品の製造・販売を開始。
1951年	3月	本店を東京都中央区新富町に移転。
1956年	6月	大阪営業所を大阪支店に昇格し、関西市場の拡張をはかる。
1957年	4月	栃木県足利市に山辺工場(現・足利第一工場)を建設。
1961年	6月	英国ICI社と軟質ポリウレタンフォームの製造に関する技術提携。
1962年	9月	東京証券取引所市場第一部に上場。
1963年	1月	当社独自の合成皮革「カブロン」の製造に成功、販売を開始。
1964年	2月	本店を東京都新宿区大京町に移転。
1965年	11月	米国ニューヨークに現地法人アキレス K.C.I. Corp. を設立。 (1978年ACHILLES USA, INC. により吸収)
1969年	7月	栃木県足利市に御厨工場(現・足利第二工場)を建設。 車輻内装材、硬質ウレタンシェル等産業資材の製造に着手。
1973年	2月	香港駐在員事務所を現地法人とし、「興白有限公司」(現ACHILLES HONG KONG CO., LIMITED) 設立。
1973年	10月	滋賀県犬上郡に関西工場(現・滋賀第二工場)を建設。
1973年	11月	米国ワシントン州エヴァレット市に「KOHKOKU USA, INC.」(現ACHILLES USA, INC.) を設立。
1974年	8月	北海道美瑛市に美唄工場を建設。
1978年	11月	滋賀県野洲市に滋賀第一工場を設立。
1982年	2月	社名を変更し、「興国化学工業株式会社」から「アキレス株式会社」とする。
1986年	6月	ドイツA.S.Creation社と壁材製造に関する技術提携。
1988年	3月	スウェーデンTarkett社と床材の製造に関する技術提携。
1989年	1月	福岡県飯塚市に九州工場を建設。
1993年	12月	中国昆山市に塩ビレザーの製造合弁会社「昆山阿基里斯人造皮有限公司」設立。
1998年	12月	導電性素材「STポリ」生産開始。
2002年	9月	ISO 14001全国7工場6関連会社の全てで認証を取得。
2002年	10月	中国上海市に、中国国内における当社関連製品の販売および輸出入を行う「阿基里斯(上海)国際貿易有限公司」を設立。
2004年	2月	「昆山阿基里斯人造皮有限公司」第二工場稼働。
2005年	12月	栃木県足利市の足利第一工場内に「アキレステクニカルセンター」を開設。
2006年	11月	「三進興産株式会社」の発行済全株式を取得し、当社子会社とする。
2007年	10月	環境に配慮した車輻内装用合成皮革の生産に向け、最新鋭製造設備を足利第一工場に導入。 全事業部でのISO 9001取得。
2008年	2月	台湾に、半導体市場の生産拡大に合わせ「阿基里斯先進科技股份有限公司」を設立。
2008年	4月	米国デトロイトにACHILLES USA, INC. の営業所を設立。
2009年	3月	シューズ「瞬足」ブランド、伊藤商事株式会社とパートナーシップ契約を締結。
2015年	2月	本店を東京都新宿区北新宿に移転。

# 数字で見るアキレスグループ

アキレスグループの2017年度の年間実績について、ご紹介します。

## 研究開発費

# 15.0 億円

- 新商品の上市に向けた基礎・応用の研究開発
- 性能向上、コストダウンに向けた新技術の開発
- 環境・省エネ対応化技術の開発
- 新事業に結び付く新テーマの市場・技術・特許調査

## 調達部材総点数

# 約9,600点<sup>※1</sup>

- 原材料の品質管理
- 品質向上に向けた取引先様との協働(取引先企業数 約1,000社<sup>※2</sup>)
- CSR活動の拡大

※1 国内グループ製造部門における製品製造に関連する調達部材の2017年度実績

※2 国内グループにおける2017年度の取引先様数

## 世界の製造拠点数

# 16 拠点

- 地球温暖化対策を含む環境配慮につながる活動推進
- 資源の有効活用
- 5S活動の推進

## 国内製造拠点 ISO 9001取得数

# 11 拠点

- 国内製造拠点全てにおいてISO 9001を取得
- 品質保証の維持・向上

## 企画開発



## 調達・購買



## 生産



## 品質管理



## アキレスグループの 2017年度年間実績

## お客様との コミュニケーション



## 廃棄・ リサイクル



## お客様相談室への 年間お問い合わせ件数

# 5,475 件

- ご意見 698 件
- その他お問い合わせ 4,777 件

## 販売



## 物流



## 国内グループの 廃棄物リサイクル率

# 99.97%

- 3R<sup>※3</sup>活動を通じて環境負荷低減を推進

※3 廃棄物の発生抑制(リデュース)、部品などの再利用(リユース)、使用済み製品などとしての再利用(リサイクル)の略語

## 「瞬足」の年間売上数

# 416 万足

- ご愛顧いただき累計販売足数 6,600万足を達成

## 輸送のモーダルシフト<sup>※4</sup>率

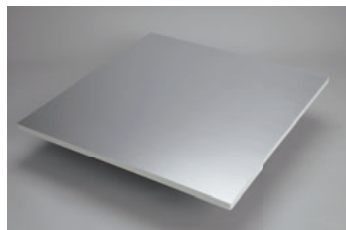
# 17.4%

- モーダルシフトの拡大と輸送効率化を推進

※4 貨物輸送をトラックから鉄道や船に換えること。一度に大量の貨物を輸送することができ、CO<sub>2</sub>排出量を抑える効果が期待される

# 社会との共通価値創造につながる取り組み

## 最高水準の断熱性能を有する「ジーワンボード」(Z1ボード)



当社は、熱伝導率 0.018W/(m・K) という業界最高水準<sup>\*1</sup>の断熱性能を有するボード型の断熱製品「ジーワンボード」(Z1ボード)の開発に成功し、2017年10月より販売しています。

※1 2018年3月末時点で発売されている建築用断熱材のうち、真空断熱材など断熱性能の発現機構が一般の繊維系断熱材、発泡プラスチック系断熱材とは異なるものは除く



熱伝導率の低い材料(断熱材)を外気と内気の境界(壁面)に使用し建物室内の保温効果を高めることで冷暖房時の消費エネルギーを抑え、温室効果ガスの排出量を低減することができます。

アキレス株式会社  
断熱資材事業部 断熱資材販売部 戸建特販課  
神山 知則

## 古いトンネルの老朽化対策に有効な「Tn-p工法」



当社は、トンネルの老朽化対策に有効な「Tn-p工法」を全国展開しています。これは、古いトンネルの覆工背面の空洞に「アキレスエアロン-R」(発泡ウレタン)を注入充填し、地震などによるトンネルの崩落や損傷を防ぐためのトンネル補修技術(裏込注入工)です。

注入設備がコンパクトで、注入材は発泡前の液状(ドラム缶)搬入のため、4トン車に全資機材を積載可能。道路トンネルは、高所作業車と資機材運搬車の計2台で対応できます。発泡ウレタンは固化時間が1分と短く、材料流出リスクも少ないため、施工安全性も向上します。



アキレス株式会社  
開発営業部 開発営業課 係長  
西尾 理



## ダニ除け特殊コーティングウレタンフォーム「ダニコン」



当社は、ダニ除けの技術を持つ KINCHO<sup>\*2</sup>とコラボレーションし、ダニの侵入を抑える機能性ウレタンフォーム「ダニコン」を製造販売しています。

※2 大日本除虫菊株式会社(本社:大阪府大阪市、代表取締役社長:上山 直英)



「ダニコン」には、安全性の高いピレスロイド系の薬剤が使用されていますので、ダニを寄せ付けにくく、お子様にも安心して使用いただけます。

アキレス株式会社  
ウレタン事業部 ウレタン販売部 インテリアリビング課  
谷 泰孝

## 足元から健康をサポート「ソルボセイン」<sup>\*3</sup> 靴用インソール製品



三進興産株式会社は、衝撃吸収性素材を組み合わせた靴用インソールなどの開発・製造・販売を通じて、足への衝撃負担を軽減させたいと考えています。

※3 「ソルボセイン」は三進興産株式会社が製造販売を行っている衝撃吸収性と圧力分散性を持った機能素材であり、三進興産株式会社の登録商標

<https://www.sorbo-japan.com/sorbo/sorbo.html>

自分に適した靴と靴用インソールを選ぶことと、正しく靴を履くことが、足への負担やトラブルを防ぐ上での重要なポイントです。私たちは、店頭でのイベントなどを通じて啓蒙活動を行っています。



三進興産株式会社  
東京営業所 営業部 所長  
河野 忠正

## コミュニケーション品質向上 社内研修



情報通信技術の急激な進歩により情報共有の利便性は格段に高まりました。一方で、ことばで意思疎通を行う機会が減少し始めています。当社では、イノベーションを育む重要な要素として、コミュニケーション品質の向上に努めています。



チーム力を高める上で、互いの意思疎通は重要だと感じています。また、コミュニケーションはお客様の満足を得る上でも重要な手段です。日々、品質向上に努めています。

アキレス株式会社  
車輪資材事業部 車輪資材販売部 部長  
金田 浩一

## ビニールハウスの換気時などの 作業性を改良した「プラチナコート」

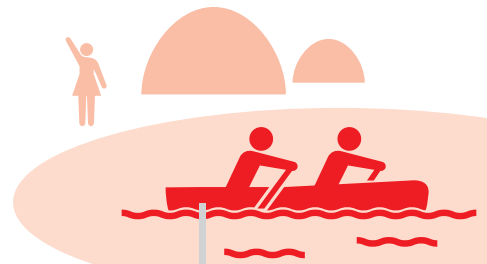


農業用ビニールフィルムのベタつきは、ビニールハウスの展張や換気などの際に破損や作業負担増の原因となります。「プラチナコート」は、当社独自のコーティング技術により、ベタつきの原因となる成分がフィルム表面に移行することを防止し、さらにコーティング層の特殊な処理により、ベタつきを大幅に抑えています。



ベースフィルムにリサイクル率の高いポリ塩化ビニル樹脂を使用した、環境に優しい製品です。ベタつきの抑制はもちろん、汚れの付着しにくさから、ビニールハウスの透明性もより持続させます。

アキレス株式会社  
滋賀プラスチック工場 生産技術課 課長  
井上 希望



## 市民ランナーのための 「MEDIFOAM / メディフォーム」



当社は、マラソンブームで増加する市民ランナーをサポートすることを目的に、ランニング時の衝撃を和らげ、楽に走れるランニングシューズ「MEDIFOAM / メディフォーム」を開発し製造販売しています。

インソールかかと部に「ソルボセイン」※4 を搭載し、ミッドソールに配した「MEDIFOAM」と合わせて2段階で接地時の衝撃を吸収。蹴り出す際には「MEDIFOAM」の反発弾性により、EVA※4 素材とは異なるスムーズな反発が得られます。

※4 エチレン-酢酸ビニル共重合樹脂の略称



アキレス株式会社  
シューズ事業部 営業本部 副本部長  
津端 裕

## アルミ素材の採用でリサイクルに 配慮 Poseidon「HB-310AX」



当社は、廃棄時のリサイクルに配慮し船底部分にアルミ素材を採用したRIB (リジッドインフレーターボート)※5 Poseidon「HB-310AX」を製造販売しています。

※5 インフレーターボートをもとに、船底に硬質の素材を用いることで、軽量化に加え高速運転時の波浪への耐性を高めた複合艇

リサイクル可能なアルミ素材を使用したRIBはアメリカを中心に強い人気があります。当社では、さらに高耐久素材であるCSMゴムを使用したエアチューブを使用しており、地球環境に配慮した製品づくりを心掛けています。



アキレス株式会社  
引布販売部 マリン引布課  
市川 弓絵

# 会社概要

設立 1947年5月  
 代表者 代表取締役社長 伊藤 守  
 資本金 146億4千万円  
 従業員数 1,707人(連結) ※2018年3月末  
 上場証券取引所 東京証券取引所(市場第一部)

本社所在地 〒169-8885 東京都新宿区北新宿2-21-1 新宿フロントタワー  
 事業所 **[販売拠点]** 東京、大阪、北海道、愛知(ウレタン)、福岡  
**[生産拠点]** 栃木(3拠点)、滋賀(2拠点)、北海道、福岡  
 ※各拠点の詳細な住所は以下URLでご確認ください  
<https://www.achilles.jp/company/>

## 事業拠点

**アキレス** アキレス(株) 拠点

子会社事業説明

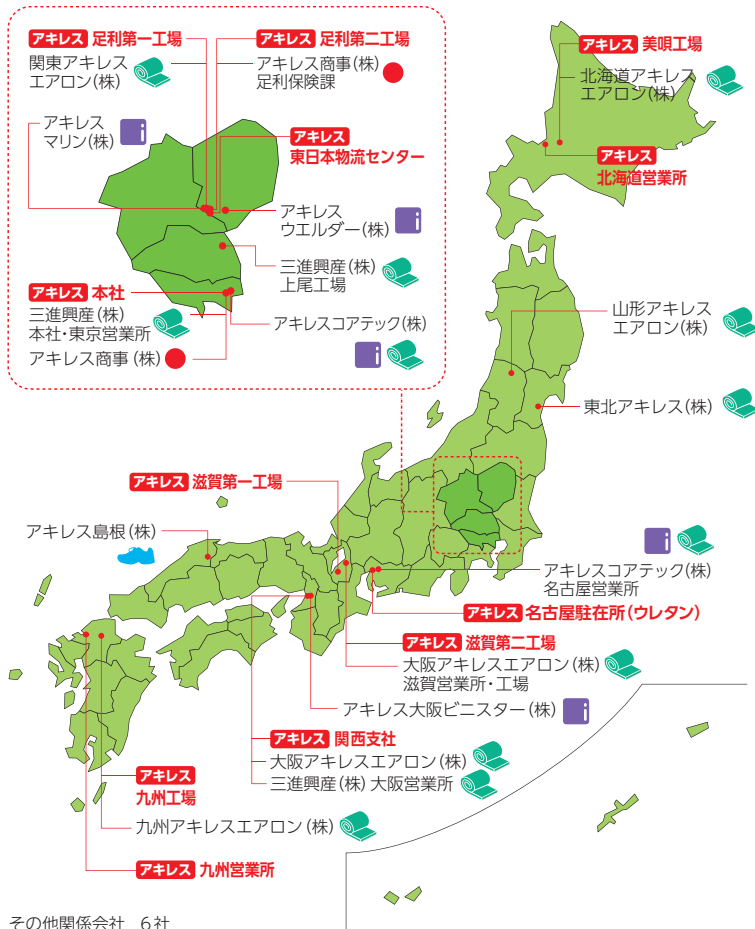
シューズ部門

プラスチック部門

産業資材部門

その他

### ●日本

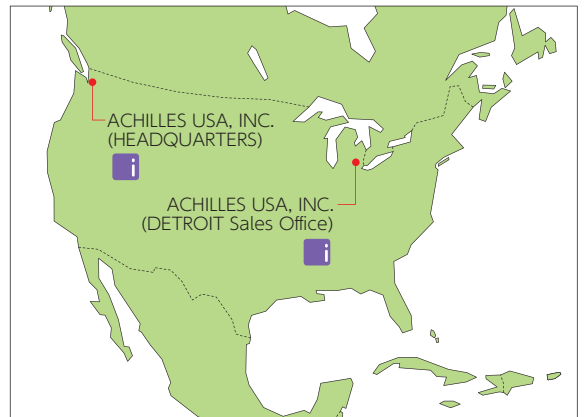


その他関係会社 6社

### ●アジア



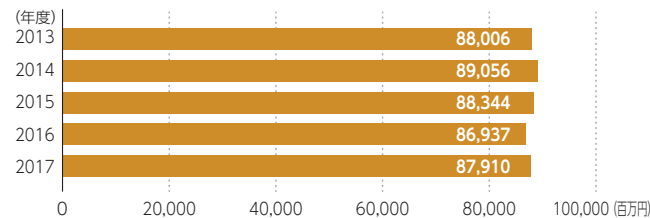
### ●アメリカ



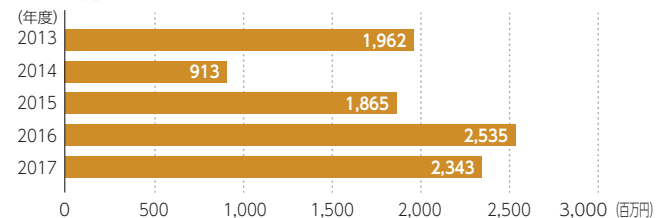
## 連結売上高・利益年度別推計

※その他、財務情報および大株主に関する情報は有価証券報告書をご参照ください

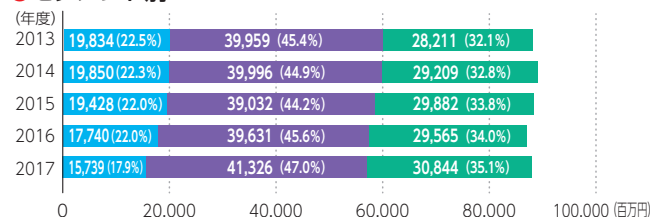
### ●売上高



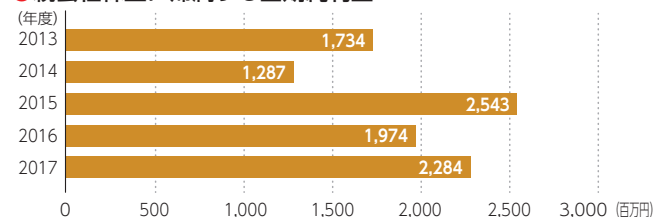
### ●営業利益



### ●セグメント別



### ●親会社株主に帰属する当期純利益



アキレスのCSR 2018 冊子版 発行日:2018年9月 発行:アキレス株式会社

※PDF詳細版では、アキレスのCSRの考え方や取り組みについて、より詳細に紹介しています。 <https://www.achilles.jp/csr/>



お問い合わせ先 【コンプライアンス推進室】 〒169-8885 東京都新宿区北新宿2-21-1 新宿フロントタワー TEL:03-5338-8232 FAX:03-5338-8250  
 【安全環境推進部】 〒326-8511 栃木県足利市借宿町668 TEL:0284-73-9148 FAX:0284-73-9854